

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	音楽Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	音楽I tutti ガットギター入門 リコーダーブック					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	実技試験は、途中で諦めないで最後まで元気よくやり通すこと。						
学習計画	前期	独唱及び合唱をやります。(試験の合間に音楽に関するDVD鑑賞を行います)					
	後期	ギターとリコーダーを演奏します。(試験の合間に音楽に関するDVD鑑賞を行います)					
評価の観点 評価の方法	定期考査は、前期後期の期末考査の点数の平均です。実技は、上手下手ではなく真面目に最後までやり遂げることに重きを置きます。						
教師からの メッセージ	何事も真面目に元気よく授業に参加してください。特に歌は、腹式呼吸で大きな声で歌うと気持ちが良いものです。おなかの底から歌いましょう。						

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	書道Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	書Ⅰ(教育図書)					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	芸術に対して興味関心を持つ。技術を向上させ、感性・感覚を磨く。						
学習計画	前期	書道の意義、用語の理解。基本的な用筆法の会得。作品名、人名の名称を覚える。					
	後期	用筆法の応用。書体の違い(楷書・行書)。漢字仮名交じりの作品制作。					
評価の観点 評価の方法	実技は作品の提出によって評価する。線・形・バランス・スピード・キレ・大きさ等の部分を段階に分け、点数化する。更にそこへ授業態度・積極性などの平常点を加え評価する。前期末・後期末・学年末の定期考査の点数を加え総合的に判断して成績を決めます。						

教師からのメッセージ	自分の字が少しずつ上手になっていくのを自分の目で確かめよう。
------------	--------------------------------

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	美術Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	高校生の美術Ⅰ					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	①美術作品の制作活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てる。 ②感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。						
学習計画	前期	①模写力の向上 ②鉛筆デッサン ③レタリング ④鑑賞（日本美術史）					
	後期	①色彩理論 ②彩色技術の向上 ③イラストレーション ④鑑賞（西洋美術史）					
評価の観点 評価の方法	①授業態度（出席率、制作態度、準備物などを評価します。） ②実技（作品の完成度を評価します。） ③定期考査（美術に関する知識問題、鑑賞に関する問題、実技問題を出題します。） ※①～③を総合的に判断しながら、成績をつけます。						
教師からの メッセージ	みんなで心地よい授業の雰囲気を作り出し、美術の作品制作や鑑賞に集中して取り組み美的感覚を磨いていきましょう。						

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	音楽Ⅰ						選 抜 コ ー ス
教科書及び 使用教材等	音楽Ⅰ tutti ガットギター入門 リコーダーブック					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	実技試験は、途中で諦めないで最後まで元気よくやり通すこと。						
学習計画	前期	独唱及び合唱をやります。（試験の合間に音楽に関するDVD鑑賞を行います）					
	後期	ギターとリコーダーを演奏します。（試験の合間に音楽に関するDVD鑑賞を行います）					

評価の観点 評価の方法	定期考査は、前期後期の期末考査の点数の平均です。実技は、上手下手ではなく真面目に最後までやり遂げることに重きを置きます。
教師からの メッセージ	何事も真面目に元気よく授業に参加してください。特に歌は、腹式呼吸で大きな声で歌うと気持ちが良いものです。おなかの底から歌いましょう。

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 選抜コース
科目名	書道Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	書Ⅰ(教育図書)					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	芸術に対して興味関心を持つ。技術を向上させ、感性・感覚を磨く。						
学習計画	前期	書道の意義、用語の理解。基本的な用筆法の会得。作品名、人名の名称を覚える。					
	後期	用筆法の応用。書体の違い(楷書・行書)。漢字仮名交じりの作品制作。					
評価の観点 評価の方法	実技は作品の提出によって評価する。線・形・バランス・スピード・キレ・大きさ等の部分を段階に分け、点数化する。更にそこへ授業態度・積極性などの平常点を加え評価する。前期末・後期末・学年末の定期考査の点数を加え総合的に判断して成績を決めます。						
教師からの メッセージ	自分の字が少しずつ上手になっていくのを自分の目で確かめよう。						

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 普通コース
科目名	美術Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	高校生の美術Ⅰ					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	①美術作品の制作活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てる。 ②感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。						
学習	前期	①模写力の向上 ②鉛筆デッサン ③レタリング ④鑑賞(日本美術史)					

計画	後期	①色彩理論 ②彩色技術の向上 ③イラストレーション ④鑑賞（西洋美術史）
評価の観点 評価の方法	①授業態度（出席率、制作態度、準備物などを評価します。） ②実技（作品の完成度を評価します。） ③定期考査（美術に関する知識問題、鑑賞に関する問題、実技問題を出題します。） ※①～③を総合的に判断しながら、成績をつけます。	
教師からの メッセージ	みんなで心地よい授業の雰囲気を作り出し、美術の作品制作や鑑賞に集中して取り組み美的感覚を磨いていきましょう。	

教科名	芸術	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 Ⅲコース
科目名	音楽Ⅱ						
教科書及び 使用教材等	音楽Ⅱ ギターの世界 リコーダーブック					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	実技試験は、途中で諦めないで最後まで元気よくやり通すこと。						
学習計画	前期	独唱及び合唱をやります。（試験の合間に音楽に関するDVD鑑賞を行います）					
	後期	ギターとリコーダーを演奏します。（試験の合間に音楽に関するDVD鑑賞を行います）					
評価の観点 評価の方法	定期考査は、前期後期の期末考査の点数の平均です。実技は、上手下手ではなく真面目に最後までやり遂げることに重きを置きます。						
教師からの メッセージ	何事も真面目に元気よく授業に参加してください。特に歌は、腹式呼吸で大きな声で歌うと気持ちが良いものです。おなかの底から歌いましょう。						

教科名	芸術	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 Ⅲコース
科目名	書道Ⅱ						
教科書及び 使用教材等	書Ⅱ（教育図書）					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	芸術に対し興味関心を持つ。技術的に向上し、感覚、感性を磨く。						

学習計画	前期	書道の意義、用語の理解。基本的用筆法のの会得。篆書・隸書の特徴を理解する。
	後期	篆刻の技術を会得し、印を彫る。漢字仮名交じり（調和体）の作品制作。
評価の観点 評価の方法	実技は作品の提出によって評価する。線・形・バランス・スピード・キレ・大きさ等の部分を段階に分け、点数化する。更にそこへ授業態度・積極性などの平常点を加え評価する。前期末・後期末・学年末の定期考査の点数を加え総合的に判断して成績を決めます。	
教師からの メッセージ	自分の力が徐々についてきて、意図する作品が制作できるようになります。感動します。	

教科名	芸術	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 III 課程 コース
科目名	芸術鑑賞(美術)					履修形態	選択
教科書及び 使用教材等	高校美術3					授業形態	実技授業
						科目の目標 ※目標資格等	
学習計画	前期	①模写力の向上 ②人物画(鉛筆デッサン) ③鑑賞(日本のアニメーション技術)					
	後期	①模写力の向上 ②ペーパークラフト ③鑑賞(アメリカのアニメーション技術)					
評価の観点 評価の方法	①授業態度(出席率、制作態度、準備物などを評価します。) ②実技(作品の完成度を評価します。) ③定期考査(美術に関する知識問題、鑑賞に関する問題、実技問題を出題します。) ※①～③を総合的に判断しながら、成績をつけます。						
教師からの メッセージ	みんなで心地よい授業の雰囲気を作り出し、美術の作品制作や鑑賞に集中して取り組み美的感覚を磨いていきましょう。						

教科名		履修学年		単位数		履修課程 (コース)	課程 コース
科目名						履修形態	
教科書及び 使用教材等						授業形態	
科目の目標							
学習計画	前期						
	後期						

評価の観点	
教師からの	

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	中高一貫 課程
科目名	美術Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	高校生の美術Ⅰ					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	①美術作品の制作活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てる。 ②感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。						
学習計画	前期	①模写力の向上 ②鉛筆デッサン ③レタリング ④鑑賞（日本美術史）					
	後期	①色彩理論 ②彩色技術の向上 ③イラストレーション ④鑑賞（西洋美術史）					
評価の観点 評価の方法	①授業態度（出席率、制作態度、準備物などを評価します。） ②実技（作品の完成度を評価します。） ③定期考査（美術に関する知識問題、鑑賞に関する問題、実技問題を出題します。） ※①～③を総合的に判断しながら、成績をつけます。						
教師からの メッセージ	みんなで心地よい授業の雰囲気を作り出し、美術の作品制作や鑑賞に集中して取り組み 美的感覚を磨いていきましょう。						

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	音楽Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	音楽Ⅰ tutti ガットギター入門 リコーダーブック					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	実技試験は、途中で諦めないで最後まで元気よくやり通すこと。						
学習計画	前期	独唱及び合唱をやります。（試験の合間に音楽に関するDVD鑑賞を行います）					
	後期	ギターとリコーダーを演奏します。（試験の合間に音楽に関するDVD鑑賞を行います）					
評価の観点 評価の方法	定期考査は、前期後期の期末考査の点数の平均です。実技は、上手下手ではなく真面目に 最後までやり遂げることに重きを置きます。						

教師からのメッセージ	何事も真面目に元気よく授業に参加してください。特に歌は、腹式呼吸で大きな声で歌うと気持ちが良いものです。おなかの底から歌いましょう。
------------	--

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	特別進学 課程
科目名	書道Ⅰ						
教科書及び 使用教材等	書Ⅰ(教育図書)					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	芸術に対して興味関心を持つ。技術を向上させ、感性・感覚を磨く。						
学習計画	前期	書道の意義、用語の理解。基本的な用筆法の会得。作品名、人名の名称を覚える。					
	後期	用筆法の応用。書体の違い(楷書・行書)。漢字仮名交じりの作品制作。					
評価の観点 評価の方法	実技は作品の提出によって評価する。線・形・バランス・スピード・キレ・大きさ等の部分を段階に分け、点数化する。更にそこへ授業態度・積極性などの平常点を加え評価する。前期末・後期末・学年末の定期考査の点数を加え総合的に判断して成績を決めます。						
教師からのメッセージ	自分の字が少しずつ上手になっていくのを自分の目で確かめよう。						

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程
科目名	美術Ⅰ						選 抜 コース
教科書及び 使用教材等	高校生の美術Ⅰ					履修形態	選択
						授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	①美術作品の制作活動を通して、美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てる。 ②感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。						
学習計画	前期	①模写力の向上 ②鉛筆デッサン ③レタリング ④鑑賞(日本美術史)					
	後期	①色彩理論 ②彩色技術の向上 ③イラストレーション ④鑑賞(西洋美術史)					

評価の観点 評価の方法	①授業態度（出席率、制作態度、準備物などを評価します。） ②実技（作品の完成度を評価します。） ③定期考査（美術に関する知識問題、鑑賞に関する問題、実技問題を出題します。） ※①～③を総合的に判断しながら、成績をつけます。
教師からの メッセージ	みんなで心地よい授業の雰囲気を作り出し、美術の作品制作や鑑賞に集中して取り組み 美的感覚を磨いていきましょう。

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程 普通 コース
科目名	音楽Ⅰ					履修形態	選択
教科書及び 使用教材等	音楽Ⅰ tutti ガットギター入門 リコーダーブック					授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	実技試験は、途中で諦めないで最後まで元気よくやり通すこと。						
学習 計画	前期	独唱及び合唱をやります。（試験の合間に音楽に関するDVD鑑賞を行います）					
	後期	ギターとリコーダーを演奏します。（試験の合間に音楽に関するDVD鑑賞を行います）					
評価の観点 評価の方法	定期考査は、前期後期の期末考査の点数の平均です。実技は、上手下手ではなく真面目に 最後までやり遂げることに重きを置きます。						
教師からの メッセージ	何事も真面目に元気よく授業に参加してください。特に歌は、腹式呼吸で大きな声で歌う と気持ちが良いものです。おなかの底から歌いましょう。						

教科名	芸術	履修学年	1	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 課程 普通 コース
科目名	書道Ⅰ					履修形態	選択
教科書及び 使用教材等	書Ⅰ（教育図書）					授業形態	実技授業
科目の目標 ※目標資格等	芸術に対して興味関心を持つ。技術を向上させ、感性・感覚を磨く。						
学習	前期	書道の意義、用語の理解。基本的な用筆法の会得。作品名、人名の名称を覚える。					

計画	後期	用筆法の応用。書体の違い（楷書・行書）。漢字仮名交じりの作品制作。
評価の観点 評価の方法	実技は作品の提出によって評価する。線・形・バランス・スピード・キレ・大きさ等の部分を段階に分け、点数化する。更にそこへ授業態度・積極性などの平常点を加え評価する。前期末・後期末・学年末の定期考査の点数を加え総合的に判断して成績を決めます。	
教師からの メッセージ	自分の字が少しずつ上手になっていくのを自分の目で確かめよう。	

教科名	芸術	履修学年	2	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 Ⅲコース
科目名	美術Ⅱ					履修形態	選択
教科書及び 使用教材等	高校生の美術2					授業形態	実技授業
						科目の目標 ※目標資格等	
学習計画	前期	①模写力の向上 ②一版多色刷木版画 ③鑑賞（日本のCG技術）					
	後期	①模写力の向上 ②切り絵 ③鑑賞（アメリカのCG技術）					
評価の観点 評価の方法	①授業態度（出席率、制作態度、準備物などを評価します。） ②実技（作品の完成度を評価します。） ③定期考査（美術に関する知識問題、鑑賞に関する問題、実技問題を出題します。） ※①～③を総合的に判断しながら、成績をつけます。						
教師からの メッセージ	みんなで心地よい授業の雰囲気を作り出し、美術の作品制作や鑑賞に集中して取り組み美的感覚を磨いていきましょう。						

教科名	芸術	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通課程 Ⅲコース
科目名	芸術鑑賞（音楽）					履修形態	選択
教科書及び 使用教材等	音楽Ⅲ 芸術鑑賞及び音楽史					授業形態	実技授業
						科目の目標 ※目標資格等	

学習計画	前期	独唱・重唱・合唱をやります。（試験の合間にDVD鑑賞します）
	後期	音楽史に関する授業及びDVD鑑賞にて歴代の作曲家の作品を鑑賞します。
評価の観点 評価の方法	定期考査は、前期後期の期末考査の点数の平均です。実技は、上手下手ではなく真面目に最後までやり遂げることに重きを置きます。後期の授業は主に音楽鑑賞です。真面目に鑑賞できた生徒に評価を与えます。	
教師からの メッセージ	何事も真面目に元気よく授業に参加してください。特に歌は、腹式呼吸で大きな声で歌うと気持ちが良いものです。おなかの底から歌いましょう。作曲家たちのDVDを鑑賞して音楽に触れましょう	

教科名	芸術	履修学年	3	単位数	2	履修課程 (コース)	普通 III 課程 コース
科目名	芸術鑑賞(書道)					履修形態	選択
教科書及び 使用教材等	書Ⅲ(教育図書)					授業形態	実技授業
						科目の目標 ※目標資格等	
学習計画	前期	書道の意義、用語の理解。用筆法の会得。篆書・隸書の特徴を理解する。					
	後期	様々な書体の技術を会得し、作品をつくる。漢字仮名交じり(調和体)の作品制作。					
評価の観点 評価の方法	実技は作品の提出によって評価する。線・形・バランス・スピード・キレ・大きさ等の部分を段階に分け、点数化する。更にそこへ授業態度・積極性などの平常点を加え評価する。前期末・後期末・学年末の定期考査の点数を加え総合的に判断して成績を決めます。						
教師からの メッセージ	自分の力が徐々についてきて、意図する作品が制作できるようになります。感動します。						

教科名		履修学年		単位数		履修課程 (コース)	課程 コース
科目名						履修形態	
教科書及び 使用教材等						授業形態	
科目の目標							
学習計画	前期						
	後期						

評価の観点	
教師からの	